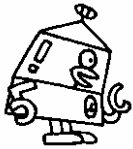


オシロイバナは、なぜ夕方さくの



花は、たいてい、花粉を運んでくれる虫の活動時間にさくが、オシロイバナが夕方さくわけは、わかっていないんだ。

オシロイバナは、虫がこなくても、花粉を受粉できる

オシロイバナは、強い日光が当たる時刻^{しごく}をさけて、花を開きます。たいてい、午後4時近くから花がさきはじめ、6時ごろには、花の中にくるくるまいてしまわれていた、めしべとおしべがのびてきて、強いかおりがします。

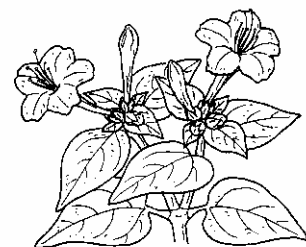
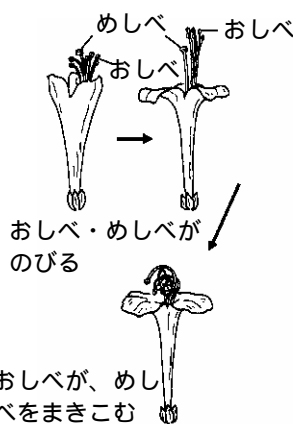
午後8時ごろには、めしべとおしべは、くるくるまきあがって、がくの中に入っ
てしまいます。このとき、花粉がめしべの頭^{ちゅうとう}（柱頭）^{じゅうぶん}について受粉します。そのため、オシロイバナは虫がこなくても、たねができてしまうのです。

夕方から夜さく花には、スズメガなどがくる

オシロイバナやオオマツヨイグサなどには、夜活動するスズメガなどがきます。ガが、花粉をめしべに運んでくれるのです。これらの花は、気温が低いほど、あるいはくもったりして光が弱いほど、早い時刻に花が開きます。ガの活動時刻にあわせているともいえます。夜さく花は、さくとき強いにおいを出すものが多いです。

夜わずかな時間だけさく月下美人というサボテンは、原産地は、南アメリカの熱帯のジャングルだったので、もとは、花のみつをすうコウモリが、花粉を運んでいたと考えられています。

オシロイバナも熱帯アメリカが原産地なので、もとは、花粉を運ぶ虫やコウモリがいたのかもしれませんが。



オシロイバナ